

[平岸天神山遺跡]

■所在地／平岸1条18丁目ほか

■時代／縄文時代早期～アイヌ文化期までの遺物・遺構が発掘されている。

■発掘時期／平成5年～平成20年の間、3回発掘調査が行われている。

現在の天神山緑地を中心とした遺跡。天神山児童会館の建設や宅地造成に伴って発掘調査が行われた。縄文時代早期からの遺物が発掘されており、縄文時代中期の代表的な土器型式「平岸天神山式」が見つかったこと^と知られている。山頂部にはアイヌ文化期のチャシ(地形を利用した^と砦、館)跡が残されている。



縄文中～晩期の土器



平成20年発掘時の空撮写真
右奥に見えるのが天神山緑地



オロシガネ状土製品(縄文後期)
出土時の様子

豊平区の 古代遺跡

協力・写真提供／札幌市埋蔵文化財センター

旧石器時代や縄文時代などの古代の遺跡が、実は札幌市内にもあるということをご存じですか？市内の遺跡はなんと500カ所以上あり、豊平区内にも多数の遺跡が点在しています。今回は区内の主な遺跡や発掘された土器・石器などを紹介します。遠い古代の文化に思いをはせてみませんか。



北海道には弥生文化がない!?

小・中学校の歴史の授業では旧石器時代から縄文、弥生、古墳、奈良、平安時代という風に習った方が多いと思います。しかし北海道には弥生文化がなく、縄文の後には続縄文、擦文、アイヌ文化期と独自の歴史が展開しました。

旧石器時代	縄文時代						続縄文時代	擦文時代			アイヌ文化期
	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期		オホーツク文化			
							弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代
	1万5千～1万6千年前	1万年前	7000年前	5500年前	4500年前	3000年前	2300年前	1300年前			800年前

その他の遺跡から出土した石器



上／T466遺跡(羊ヶ丘1)から出土した縄文時代の石製装飾品
右／T464遺跡(羊ヶ丘1)から出土した旧石器時代の石器